

## 第 537 回 例 会

25年3月15日

## 本日のプログラム

- ・ソング 「それでこそロータリー」
- ・卓話 クラブフォーラム  
国際奉仕委員会 龍岡 恵子 委員長
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「ガーデンルーム」

## 次回(3月22日)のプログラム

- ・ソング 「それでこそロータリー」
- ・卓話 久保田 秀一 会員  
「私の仕事 Part 5」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「ガーデンルーム」

## 先週(3月8日)の例会報告

## ■会長の時間

## 【越王怒蛙に式す】

中国の故事。

呉と越の二国間の、激しくも長い争いは、さまざまな故事を残してくれている。「臥薪嘗胆」もそのひとつ。

呉王夫差のために敗れた越王勾踐は、なんとか復讐をと常住坐臥、そのことばかりに心をくだいていた。で、部下たちが勇んで死んでくれるほどの忠誠を誓ってくれたら、かならず呉軍をくだせるだろうと信じた。

あるとき、馬車に乗って越王は外出した。と、馬車の前に立ちふさがって、動こうとしない一匹のガマ蛙に出会う。ひどく怒っているようですが、その小さな身体から感じられた。越王は、馬車を降り「いや、驚かしてすまなかった」とガマ蛙にいていねいにお辞儀をして、再び馬車の人となった。つきそっていた部下が、王の奇怪な行動を不思議に思い、「なぜ、ガマ蛙に頭をさげたのでございましょうか」と尋ねた。すると勾踐は、得たりと「ガマ蛙は勇気をもっていたからである。わたしは勇気ある者には、ガマ蛙といえども敬意を表する」そう答えた。この話を伝え聞いた人びとは「ガマ蛙でさえ、勇気があったといって、あんなにも厚く遇された。人間がもし勇気あるふるまいをしたら、なおさら尊敬されるのではないだろうか」と噂しあった。で、翌年には自分の首を王に献上したいと申し出る者が十人余りもあったという。

「越王怒蛙に……」は、ほめるだけでも人を殺せるというたとえに使われる。

勇んで死んでくれる多くの部下を従えた越王勾踐は呉王夫差を破ったのち、さらに軍を北に進めた。淮河を渡り、齊、晋の諸侯と徐州に会し、呉にかわって天下の覇者となるのである。

勾踐は、なかなかの人物らしく、人心を収攬する手をいくつも使っている。やることがお芝居がかってはいるが憎めない。ガマ蛙に頭をさげるなど、なまなかの人間がやれる行動ではない。

勾踐はまた部下の進言をよく聞いた。いちど敗戦のうきめをみたのち、よく立ち直って天下に覇をとこなえられたのは、名臣范蠡の諫めを素直に実行したからである。呉王夫差に会稽山で敗れたあと、越王勾踐は、どうしたらよいか范蠡に尋ねる。するとこの名臣はいう。

「常に心をみなぎらせている(満を持す)者には、天の助けがあります。危難をささえた(傾けるを定める)者には、人の助けがあります。用を節約して質素を守る(事を節する)者には、地の助けがあります。今後は、この天と地と人との助けを得るように努めなければなりません。」

【来客紹介】 0名

【出席報告】

25年3月8日(第536回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
31名	2名	22名	7名	75.88%

## 【幹事報告】

[メールBOXに配布]

- 1) 地区出席報告(1月分)
- 2) 第9回理事会報告
- 3) 例会変更のお知らせ
- 4) 「職場見学会」と「移動例会」のご案内
- 5) ガバナー補佐訪問「第2回クラブ協議会」出席のお願い (出欠は回覧表へ 来週まで)
- 6) 次年度 理事・役員・理事会構成メンバーおよび委員会構成表

[回覧資料]

- 1) 田中作次物語DVDのご案内 (申込みは回覧表へ記入)
- 2) 大阪市交通災害遺族会「パンジーだより」
- 3) 神韻世界ツアー2013日本公演のご案内 (前週に引き続き回覧)

## ニコニコ箱(3月8日)

- 小林 知義 =暖かくなりました。財布の中は寒々ですが、頭の中身がポカポカです。  
久保田秀一 =明日からアメリカ出張しますので、来週は休ませていただきます。  
森本 良嗣 =昨日、今日、暖かいです。年寄りには楽させて貰えます。  
鈴木 正明 =もうじき桜の季節、楽しみです。私はこの時季が一番好きな時間です。  
高野 幸雄 =今日、明日と黄砂とPM2.5の飛来量がすごい様です。お気を付けて下さい。

【SAA報告】	ニコニコ箱	本日計 5000円	今年度合計 3026268円
---------	-------	-----------	----------------

## 卓話(3月8日)

### 「私の仕事」 佐田 幸夫 会員

家具を表す言葉として、英語でFurniture、ラテン語でMobiliaという言葉があります。Furnitureは生活する為に必要な道具や設備などを意味し、Mobiliaは室内で動かす事ができる道具という意味合いをもって生まれた言葉だそうです。日本では家具全体を指す言葉はもともとありませんでした。西洋家具の概念が輸入された明治時代以降に、それまで「調度」「道具」と呼ばれていたタンスや棚や箱などの生活道具が家具と呼ばれるようになったのです。家具の素材は、様々で、木製だけでも、天然無垢材、突板、メラミン、ポリ、プリント合板など色々あり、見た目、質感、コストも変わってきます。環境(住宅、学校や病院など)用途に合わせて、求められるデザインや材質が変わります。

履物を脱いで床に座る暮らしをしてきた日本では、家具が使われることはあまりありませんでした。家具の代表とも言えるタンスが登場したのは意外と遅く、江戸時代になってからです。それまではタンスのかわりに箱型の収納家具、行李、葛籠、櫃などが使われていました。江戸時代になると生活も豊かになり、家の中に物が増え、それらを整理するためにタンスが普及するようになったのです。明治時代になると、文明開化により役場や学校ではイスが用いられるようになりました。その後、住宅の洋式化が進んで昭和30年代になると、高度成長期の大きな流れに乗り、公団住宅に取り入れられたダイニングキッチンスタイルが広まって、ここではじめてイスが普及するようになります。

### ドイツ生まれのフルオーダー収納家具「KOLN32」について

ヨーロッパ生まれのシステムを導入したフルオーダー収納家具。システム収納ではない。別注収納家具でもない。柔軟性のある新しい収納の形。ヨーロッパ製メラミンボード、金物を使用し世界で認められている高品質な部材で構成されています。ヨーロッパの家具製作規格となっている「32mm」のモジュールを採用。ヨーロッパではメーカー問わず部材を自由にカスタマイズすることが出来るのは、このモジュールがあるためです。収納本体はノックダウン工法による施工。釘や接着剤を使用せず組立可能。一度組んだ収納をパーツ単体に解体し、新たな組替えや移設を可能にしています。生活の変化に応じて、収納も変化する。別注家具では成しえなかった柔軟性を実現しています。KOLN32は高さ方向と奥行き方向に32mmのモジュールを導入し、よりシステムティックに幅方向は1mm単位の設計をすることで、隙間なく設え収納量を最大限に確保するシステム収納では成しえなかった高い自由性を実現しています。輸入部材を日本の仕様に合わせてスピーディに加工し、大量生産ではなく、一つひとつ丁寧に、空間に合わせた世界に一つだけの家具を製作しています。

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mai: [ucrc@osaka-ucrc.org](mailto:ucrc@osaka-ucrc.org) 創立: 2001年3月27日  
事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459  
会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日 12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか